

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年9月15日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672100189
法人名	株式会社 一幸
事業所名	グループホーム みどりの郷
所在地	鹿児島県南九州市穎娃町上別府4627番地 (電話) 0993-28-2250
自己評価作成日	平成26年7月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年7月30日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が住み慣れた環境で、グループホームでの生活に生きがいを感じ、気ままに生活して頂けるような環境作りに努めている。  
隣接する小規模多機能型居宅介護事業所と合同で行事を行い、多くの人と触れ合うことが出来るよう努めている。また、他事業所(サービス付き高齢者住宅)にもドライブなどの時により、利用者様の交流や、職員の交流など、触れ合う事が出来るよう、努めている。  
畑もあり、一緒に野菜を作り、成長や収穫をともに喜び、利用者様の知恵をいただきながら料理やお菓子里に調理して食することを楽しんでいる。また、自治会と一緒に、ゲートボール場の草むしりや清掃などもおこなっている。

開設10年目を迎えた当ホームは緑豊かで、のどかな地域に建てられている。敷地内には小規模多機能ホームが隣接しており、運営推進会議や避難訓練、ホーム行事など合同の開催で連携を深めている。近くには地域のゲートボール場があり利用者は見学の機会や自治会の一員として清掃活動へも参加している。折に触れ地域行事に出向いたり、地元の馴染みの友人・知人との触れ合いの機会を多く持つ支援を心掛けている。ホーム主催の敬老会や避難訓練にも地域住民の参加を得られている。管理者はボランティアで地域に向け、認知症に対する理解と知識を広める講習会や介護保険制度に関する勉強会など多方面から情報提供の機会を作っており、多数の地域住民の参加を得られている事から、地域での役割を担い貢献も出来ている。

今後はPTAを通して子供や保護者に向け認知症に対する理解を広めて行く予定である。

職員は定着率が良く、やりがいを持ってケアに励んでいる。研修や勉強会で資質の向上が図られており、理念に掲げる「心」で聴く姿勢を大切に、利用者に寄り添うサービスの実践に日々繋げる努力をしている。ホームの存在を積極的に地域に向け発信し続けた成果として、開設10年が経ち地域に開かれたホームとして双方で協働の関係性が構築されてきており、地域密着型サービスの主旨を真に捉えたグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員で話し合った理念をもとに、利用者と職員が地域との関わりの中で、自然に生活できるよう取り組んでいる。	母体法人の経営理念を基本に、平成26年度に見直しをしている。安心・笑顔・心で聴く姿勢を大切にしており管理者や職員は地域との密接な関係を構築しながら日々のケアに努めている	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者とともに地域の商店へ買い物に出かけたり、地域行事の参加や事業所の行事や防災避難訓練への参加を通し地域の交流に努めている。	地域の行事に利用者と共に出向いたり、ホーム主催の年間行事等へ地域住民の参加を得ており、双方で交流を図っている。管理者はボランティアで、地域に出向き認知症や介護保険制度、チームワークについての勉強会等を多数開催しており、地域への貢献度も高い。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方々を対象に、認知症サポート養成講座や、認知症についての勉強会などを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議ではホームの活動状況の他、ご家族からの意見要望苦情等報告し、参加者からの、質問、意見、要望なども伺い、サービスの向上に努めている。また、取り組みや、行事などを報告している。	隣接の小規模多機能ホームと合同の開催になっている。民生委員や家族・自治会長・行政などの参加を得、利用者状況や活動状況などの報告をしている。今後は警察・消防への参加の呼びかけや、多くの家族の参加の機会を得るためにも行事と抱合せた開催も検討している。外部評価から見えてきた課題も取り上げるなどし、今後のサービスの質の向上に取り組む意向である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に参加していただき、日々の状況や取り組みについて報告している</p>	<p>情報のやり取りはメールが主であるが必要に応じて窓口に出向き相談や手続きを行っている。行政に対して認知症などの勉強会の案内もしている。地域包括センターからは受け入れの相談があるなど必要に応じて良好な連携が取れている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束についての勉強会を行い、全職員で正しく理解するように努めている。また、重要事項説明書に「身体拘束は行わない」等明示し、身体拘束を行わないケアを実践している。</p>	<p>身体拘束については、年間の研修計画にも組み込まれている。身体、言葉による弊害を重んじており、勉強会を開き、声のかけ方や、リスクの高い利用者に対しては福祉用具の必要性を理解してもらえるように根気強く説明をするなどし、職員は意識を高めたケアに努めている。ヒヤリハットも再発防止に向け適切に報告、検討されている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ホームでの勉強会を通して全職員で正しく理解するよう努めている。また、日常のケアの中で利用者の精神的・肉体的な阻害になるようなことがないか検討している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会の参加や勉強会などを通して学習に努めている。日常生活自立支援事業を利用されている利用者もいらっしゃるの、その都度権利擁護に関する制度について学習している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時、重要事項説明等は詳細に説明を行い、利用者・家族等の納得を得られた上で、契約を結んでいる。入所後も利用者・家族からの要望及び改善等で必要と思われた時には随時、文書等にて説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、ご家族からの意見や要望は運営推進会議やたより等で報告し、改善に向け話し合っている。相談窓口として、介護相談室を設けている。	家族会は行っていないが、面会時やホーム主催の行事参加の際に意見や要望の聞き取りに努めている。バーベキュー大会では準備から片付けまで家族のサポートがあり信頼関係を築けている。今後は外部評価より得られた課題を運営推進会議などで取り上げ、職員も共に改善点を見出しサービスの向上に繋げる方向である。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や朝礼などで意見交換を行っている。また、定期的に個人面談を行い、意見や提案を聞く機会を設けている。	面接シートや実習シート、振り返りシートなどの活用をしている。管理者は常に職員とは話し易い雰囲気作り心掛けており何でも相談できる信頼関係も出来ている。出されたアイデアや現場での気付きはサービスの質の向上に繋げている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は定期的に事業所を訪問し、職員の努力や能力、勤務状態の把握に努めている。スキルアップのための研修への参加の機会を提供したり、給与等にも配慮をおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所外で行われる研修会には、職員が交互に参加し、全職員の意欲や能力に応じて研修を受ける機会の確保に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設への見学や交流会への参加を通じ、サービスの向上に取り組んでいる。また、他事業所の他施設研修の受け入れなど行い、職員の交流も図れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前に、病院や家庭を訪問し、ご本人に面談し、生活環境や身体状況、生活状態等の把握に努め、信頼関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族や相談に来られた方の困っている事や不安な事などについて、利用相談や利用申込みの際などに伺い、利用に対する不安等なく利用できるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際、本人や家族の状態を把握し、利用できる他のサービスの紹介など、その時に出来る限りの支援をおこなっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔ながらの習慣や習わし、農作業や料理の味付けなど教えていただいたり、意見を参考にしている。また、歌を教えて頂いたり、田舎言葉を教えて頂いたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事や面会に来られた際、日常生活の様子などの情報を家族と共有し、電話をかけたたりしながら一緒に支えていく関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会が出来る体制を整えている。時には、自宅に一緒に行ったり、買い物に出かけたりしている。	法人の系列の他事業所との交流があり、地元出身者が多数であり、馴染みの友人・知人との関係が継続できている。訪問美容や行き慣れた店での買い物等、地域資源を活用しながら地域の一員としての支援が出来る。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、職員は情報を共有している。情報をもとに、食事の席順や入浴の順番などに配慮している。また、場合によっては職員が間に入りコミュニケーションが円滑に行えるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去先や家族への詳しい情報提供を行うとともに、サービス利用後も面会やお見舞い等により、関係性の継続に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、表現、言動、などを感じて、声掛けやレクリエーション等により意思疎通を図り、定期的にアセスメントを行っている。	確認・思いシートなどで個々の思いや意向の把握の汲み取りの手段に活用している。利用者が職員に心を開いているか、信頼関係が出来ているかなど、管理者は職員に指導をしながら思いや意向の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や面会時などに、家族から今までの生活歴の聴き取りを行うとともに、本人の日頃の会話からも情報を得るように努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	普段の生活の中で、本人の出来る事、出来ない事を把握し、情報の共有に努め、一人一人の生活のリズムを尊重し支援している。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の意向や家族の意向を聞き、それぞれの意見を反映させた計画を作れるように努めている。協力医療機関の主治医や看護師からも、しばしば意見を頂いており、介護計画に反映させている。	本人・家族の意向や医療機関等、関係者の意見もふまえた介護計画を作成している。ケアの経過は情報の共有シートや気づきシートを活用しモニタリングを行っている。家族や地域も共に支える支援を組み込んで個々に応じ、現状に即した介護計画を作成している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の経過記録を用意し、日勤者、夜勤者が日々の様子を記録している。また情報共有シートを活用しながら情報を共有し、日々のケアに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族などの状況や要望に応じて病院受診や自宅訪問等必要な支援を柔軟に対応している。また、近隣の医療機関と医療連携体制を結んでおり、看護師による健康管理を行っている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会の公園を利用している。この公園を自治会の方と一緒に草むしりをしたり、清掃もおこなっている。また、近隣の保育所とも交流し、散歩の際には遊びにきていただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を確保しており、受診は職員が同行し、日々の状態のど伝えている。また、その際主治医の先生や看護師よりアドバイスを頂いたり、相談したりしている。また、歯科、皮膚科などは、往診をして頂いている。	希望に応じたかかりつけ医の支援をしている。協力医療機関との連携がとれており、職員が同行し家族には受診結果と内容の報告をしている。看護師の配置もあり24時間医療連携も取れていることから適切な医療が受けられるように支援している。歯科や皮膚科は往診で対応しており、認知症の専門医との連携も出来ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常的には、看護資格を持つ職員が中心となり健康管理に努めているとともに、協力医療機関の医師や看護師に健康面での相談を気軽に行える関係づくりに努めている。また、定期的に情報交換を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院した際には、こまめに面会に行き、利用者の不安解消に努め、本人や家族の希望を聞きながら病院との連携を図っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について、入居時や状態の変動があった時に、ご家族への説明を行い、全員での支援の方針を共有している。	重度化や終末期に向けたホームの指針を作成しており入所時に家族に説明をしている。看取りの経験は未だ無いが、ホームで出来る最大限の支援を職員全員が共有している。今後は初期の段階からの家族との同意書の取り交わしの必要性を重視し、様式の見直しをする方向である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年に一回消防署に要請し、救急救命士による実施指導を受けている。また、普段から協力医療機関の看護師に相談、指導を頂いている。また、今年度よりAEDも設置している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に通報訓練や避難訓練を行い、利用者を円滑に避難させるよう努めている。また、地域の方の協力をお願いし、地域での防災訓練などがある際には参加を行っている。</p>	<p>消防署指導の定期訓練の他、地域との合同訓練にも参加している。ホームの訓練にも地域住民の参加も得られており、自動通報システムにも地域住民の登録もあるなど地域との協力体制が出来ている。今後は地震対策も検討していく方向である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員会議や朝礼等で話し合い、個人のプライドやプライバシーを尊重した声掛けや対応に配慮するように心掛けている。	個々に応じた声掛けやプライドを損なわない様な声かけに配慮しながら対応している。特に入浴や排泄時などさり気無いケアや言葉かけで羞恥心や尊厳に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	レクリエーションなどの参加や入浴の有無、食事形態など日常生活の中で利用者の希望や意見交換を表せる雰囲気作りを心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や食事時間など利用者が自分のペースで行えるよう柔軟な対応を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしさを大切に、好みの髪型や服装ができるように配慮している。また、本人と家族と相談し希望に合わせて苑に理容師に来て頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえや食器洗いなど、利用者の力に応じた手伝いを頂くよう心掛けている。また、職員も同じ食事をとり、楽しい雰囲気作りを心掛けている。	ミキサー食や刻み食など利用者の咀嚼や嚥下に配慮した食事形態で提供している。食材の下ごしらえや器洗いなどを職員と一緒にし、生活感を得られる様にしている。ホームの庭でバーベキュー大会をしたり季節を感じられるように、青竹を切ってソーメン流しをする計画もあり目先を替えて食事が楽しみな時間になるように工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人一人の一日の大まかな食事・水分摂取量を把握している。また、基本の献立を栄養士に立てて頂き、状態に応じて、トロミを付けたたり、食材の大きさを検討する工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛けを行い、利用者の状況に応じ見守りや介助など支援をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成し、排泄パターンの把握に努め、利用者の状況に合わせて、声掛けや誘導を行い、失敗を少なくし、トイレで排泄出来るよう支援している。	オムツからリハビリパンツに改善した利用者もいる。排泄チェック表の活用による、個々に応じた適時の声掛けでトイレでの排泄の自立に向けた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や体操などの適度な運動を通じて、自然な排便が行えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者の入浴日は一応決めてはいるが希望があれば入れるようにしている。心身の状況に応じて足浴、清拭も支援している。	基本は週に3回であるが、希望があれば毎日でも入浴が可能である。入浴をためらう利用者は家族と一緒に入るなど柔軟な対応もしている。職員と歌を歌ったりマッサージをしてもらいながら、入浴がゆったりと楽しい時間になる工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日光浴やレクリエーション、体操など日中の活動を通して生活リズム作りをしている。また休息したい時には、自由に休めるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人一人の薬の情報シート（薬情）を保管し、用法や副作用等について把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	農作業や家事の経験を一人一人活かせるように支援している。また、季節ごとの行事を行い、外出する機会を作っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は出来るだけ外で過ごすように支援し、利用者の気分や希望に合わせて散歩や買い物などに出かけている。レクリエーションの一環で日光浴などもよく行っている。	家族が墓参りや外食に連れて行く利用者もいる。日常的には近隣の散歩に出掛けたり気候に応じてホーム内の菜園で農作業に励んだり、シンボルツリーの木陰で外気浴を楽しんだりしている。花見やドライブにも出掛けるなどし、ホーム内に閉じこもらない生活を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の能力や希望を家族等と相談しながら、出来る限り本人に管理して頂いている。また、希望に応じて職員と一緒に買い物に行ったり、外出時に買い物をされたりしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望に応じて家族へ電話をかけたり、はがきや手紙のやり取りができるように努めている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家事の音やにおい、昔なじみの音楽や季節の花を飾るなど季節感を感じられ、心地よく過ごせる工夫をしている。また、飾り物なども季節感を感じられるよう工夫している。飾り物なども利用者の方と一緒に作成している。</p>	<p>吹き抜けの天井は開放感があり、リビングは自然の採光を取り込み明るく広々とした空間である。見守りに配慮した対面キッチンであり、大型のソファも置かれ、テレビ観賞や季節の貼り絵や折り紙などを楽しみながらゆったりと過ごせる。芝生を敷き詰めた中庭があり、シンボルツリーを木陰にベンチも置かれ、行事の集いや外気浴の場所にもなっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関やホール、中庭などにソファやベンチがあり、畳の談話室もあり、一人で過ごしたり、他の利用者と共に過ごせる場所がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タオルケット、毛布など本人の使い慣れた物品を持って来て頂いている。また、ぬいぐるみや家族や友人と撮った写真を飾るなどしている。	ベット、タンス、クローゼットは備付けである。折り紙などの季節に応じた作品を飾ったり、家族写真や位牌など馴染みの深い品を持ち込み、安心してゆったりくつろげる生活空間である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ、浴室に手すりを設置し、苑内は段差なくバリアフリーとなっている。また、利用者の状況に応じて、居室内に畳を敷いたり、タンス・ベッドの配置を変更するなどの工夫をしている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない